

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8346
担当部課名	保健所	保健予防	課	精神保健・難病対策
事務事業名	精神障害者社会参加促進事業		事業コード	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	12
施策名	第2施策	保健サービスの充実	年度

2 実施根拠及び関連法令等

精神保健福祉法

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
地域における精神障害者の自立と社会参加の促進を図るための事業を実施する。	精神障害者 精神保健福祉関係機関職員
	対象数 約850人
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
<ul style="list-style-type: none"> あじさい交流会(ソフトバレーボール大会)の開催(年2回 6月・2月) 地域精神保健福祉連絡協議会(年1回 3月) 生活支援施策検討連絡会(年4回 10月・11月・1月・3月) 地域生活支援センターの機能について ホームヘルプサービス事業について <p>(経費内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域精神保健福祉連絡協議会委員謝礼 139千円 生活支援施策検討連絡会講師謝礼 89千円 あじさい交流会実施委託 250千円 会議開催等消耗品 20千円 	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名 相模原市障害者福祉計画
	計画年次 10年度～14年度
	精神保健施策の整備

4 評価指標

指標名	スポーツ大会参加率		
指標式	当年度参加者数 / 前年度参加者数 × 100%		
指標設定の意図	参加者数の推移		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標		562	a 591	b 562	591	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	0	623	498	524	521
	人員・時間数		155h	182h	203h	182h
	人件費		702	824	920	824
	その他経費		0	0	0	0
	合計	0	1,325	1,322	1,444	1,345
特定財源		400	365	360	347	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 105.2%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{591.0}{562.0} \times 100 = 105.2\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	地域の特性に応じた精神保健福祉対策を推進するため、また障害者同士のみならず対市民間との交流及び社会参加促進に向けた取り組みを行うことができた。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	精神障害者の地域交流と社会参加促進を図る上で適応した内容である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	普及啓発を目的とする中では、経済性は設定しにくい。ただし、地域交流と社会参加促進については、対象者が拡大するなど効果的である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	スポーツ大会については、将来地域生活支援センターが設置された場合には、地域交流事業としての実施が可能と考える。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	精神障害者と地域関係機関のみならず、さらなる一般市民との交流を図る必要がある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	精神障害者の社会参加については未だ不十分なレベルにあり、今後も強力で推進すべき課題である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 精神障害者と一般市民との交流については一層の推進が可能である。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 講師等の謝礼については、市の基準に基づくため難しい。</p>

7 総合評価

評価 AA ▼	他自治体の類似事業との比較	国の障害者プランに基づき、保健所及び市町村で同様の事業を実施している。	
		説明 地域で生活する精神障害者の自立と社会参加については、偏見や差別を取り除いて一般市民の理解と協力を得ていくことが不可欠であり、精神障害者と一般市民との交流の場を拡大していくとともに、精神保健福祉についての普及啓発にも力を注いでいく必要がある。	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--